

平成31年度 第3回 小笠原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和02年03月05日 午後04時00分～午後05時00分

開催場所 小笠原警察署 講堂  
出席者 協議会委員 5名  
署長ほか 4名

内容

会議に先立ち、警備係長、交通係長、捜査係長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 令和2年小笠原警察署武道始式の実施について
- 2 情報管理課による端末整備作業の実施について
- 3 東京都警察情報通信部による無線設備の更新作業の実施について
- 4 会計課による会計定期監査の実施について
- 5 健康管理本部による健康指導の実施について
- 6 留置施設、車両、通信機器等の月例点検の実施について
- 7 清瀬交差点の信号サイクルの変更について
- 8 飲酒検問、通学路取締りの実施について
- 9 交通事故を端緒とした酒気帯び運転被疑者の検挙について
- 10 例大祭、年末年始各種行事、ロードレース大会、節分等における警備の実施について
- 11 おがさわら丸船内及び二見港でのテロ対処訓練の実施について
- 12 排出油事故を想定したオイルフェンス展張訓練の実施について
- 13 新型コロナウイルス感染症に関する各種対策の実施について
- 14 巡回連絡やパトロール等の街頭活動の強化について
- 15 小笠原海運営業所、大神山神社に対する防犯カメラ設置推進について
- 16 おがさわら丸船内における窃盗事件の解決について
- 17 金融機関に対するホットライン通報の協力体制の構築について
- 18 金融機関に対する警戒の実施について
- 19 防災無線、ケーブルテレビを利用した特殊詐欺被害防止対策の実施について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 島民からの要望・相談に適切に対応し、信頼と協力が得られる警察活動の推進
  - (2) 重大事故の防止と安全で快適な交通社会を実現するための諸対策の推進
  - (3) 国際テロ対策等の推進、地域実態に即した警察活動の推進
  - (4) 地域実態に即し地域住民に密着した警察活動の推進
  - (5) 犯罪抑止総合対策の効果的推進
 以上の対策を説明し、「安全・安心な島小笠原」の実現に向けた取組について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
署長からの説明のとおり、地域住民に密着した警察活動を推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から、「おがさわら丸船内の窃盗事件とは、こういった内容であったのか。」との質問があり、事件概要について説明した。
- 2 委員から、「観光等による夜明道路の駐車マナーが悪く、車両の通行の支障になっている。」との話があり、今後パトロールによる指導取締りを強化するとともに、観光協会等を通じて駐車マナー向上について周知していく旨説明した。
- 3 委員から、「清瀬交差点付近のブロック塀が崩れそうである。歩道に面しており、危険である。」との話があり、現場を確認した上で関係機関と連携して対処していく旨を説明した。
- 4 委員から、「母島には街中に何台くらい防犯カメラが設置されているのか。」との質問があり、設置状況について説明した。
- 5 委員から、「島内観光業者による運転中の携帯電話の通話が多く見られ、危険である。」との話があり、今後指導取締りを強化する旨を説明した。
- 6 委員から、「自転車の保険加入が義務化されるが、知らない人が多いのではないか。」との話があり、今後各種行事等を通じ、広く島民に周知していく旨を説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成31年度 第2回 小笠原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和01年10月29日 午後04時00分～午後05時00分

開催場所 小笠原警察署 講堂

出席者 協議会委員 4名  
署長ほか 4名

内容

会議に先立ち、警備係長、交通係長、捜査係長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 齊藤副總監の管内巡視について
- 2 小笠原高校生徒に対する職場体験、小笠原小学校児童に対する社会科見学の実施について
- 3 留置施設、車両、装備品等の点検の実施について
- 4 厚生課による家族住宅、単身寮の視察点検の実施について
- 5 秋の全国交通安全運動に伴う各種キャンペーンの実施について
- 6 安全運転管理者講習の実施について
- 7 飲酒検問の実施について
- 8 各種イベントに伴う雑踏警備の実施について
- 9 小笠原村防災訓練の実施について
- 10 海上保安庁との合同パトロールの実施について
- 11 巡回連絡やパトロール等の街頭活動について
- 12 覚せい剤取締法違反被疑事件、窃盗被疑事件の捜査について
- 13 金融機関に対するホットライン通報の協力要請について
- 14 金融機関のATM警戒の実施について
- 15 防災無線、ケーブルテレビを利用した特殊詐欺防止対策の実施について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 島民からの要望・相談に適切に対応し、信頼と協力が得られる警察活動の推進
  - (2) 重大事故の防止と安全で快適な交通社会を実現するための諸対策の推進
  - (3) 国際テロ対策等の推進及び地域実態に即した警察活動の推進
  - (4) 地域実態に即し地域住民に密着した警察活動の推進
  - (5) 犯罪抑止総合対策の効果的推進
 以上の対策を説明し、「安全・安心な島小笠原」の実現に向けた取組について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
署長からの説明のとおり、地域住民に密着した警察活動を推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から、「湾岸通りを奥村方向から進行し清瀬交差点を右折する際、対向車の交通量が多い時間帯だと右折できずに赤信号になってしまう。改善することはできないか。」との話があり、今後、交通量の調査等を行い、必要があれば信号サイクルを変更する等の措置をする旨説明した。
- 2 委員から、「島内の道路に設置されているカーブミラーで、先が見にくい場所があるので、老朽化したミラーを交換してもらいたい。また、設置数を増やしてもらいたい。」との話があり、今後、状況を確認した上で、管理者に対し村民から意見要望があったことを伝える旨説明した。
- 3 委員から、「夜間、湾岸通りから脇道に曲がる際、外灯もなく暗くて道路が見にくいので改善してほしい。」との話があり、今後、状況を確認した上で道路管理者に対し村民から意見要望があったことを伝える旨説明した。
- 4 委員から、「奥村地区の路上駐車が長く、通行の支障になる時がある。」との話があり、今後、違法駐車取締りを強化すると共に、各種キャンペーンを通じ、路上に駐車することがないように村民に広く周知していく旨説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成31年度 第1回 小笠原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和01年06月26日 午後04時30分～午後05時40分

開催場所 小笠原警察署 講堂  
出席者 協議会委員 5名  
署長ほか 4名

内容

会議に先立ち、会長・副会長を互選した。  
また、交通係長、警備係長、捜査係長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 小笠原高校での受験勸奨活動の実施について。
- 2 情報セキュリティ監査、警察装備品等視察点検等の実施について。
- 3 交通少年団活動について
- 4 飲酒検問、交通安全教室の実施について
- 5 春の全国交通安全運動の活動結果について
- 6 子供まつり、産業祭、ヨットレース、返還祭等のイベント時や定期客船、外国船舶入港時における警備、不発弾処理時における搬送警備、交通規制等の実施について
- 7 海上保安庁との合同パトロールの実施について
- 8 大麻譲渡被疑事件、大麻所持被疑事件の捜索差押及び通常逮捕、脅迫被疑事件の捜索差押及び通常逮捕について
- 9 緊急を要する患者の内地病院への搬送について
- 10 高齢者に対する講習会及び防災無線を活用した特殊詐欺防止諸対策の実施について
- 11 少年健全育成活動の実施について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 島民からの要望・相談に適切に対応し、信頼と協力が得られる警察活動の推進
  - (2) 重大事故の防止と安全で快適な交通社会を実現するための諸対策の推進
  - (3) 国際テロ対策等の推進及び地域実態に即した警察活動の推進
  - (4) 地域実態に即し地域住民に密着した警察活動の推進
  - (5) 犯罪抑止総合対策の効果的推進
 以上の対策を説明し「安全・安心な島小笠原」の実現に向けた取組について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
署長からの説明のとおり、地域住民に密着した警察活動を推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から、「母島の港付近において、観光客が開放感からか、下船後に道いっばいに広がって歩いており、危険である。」との話があり、駐在所勤務員により交通整理等を実施し、観光客に対し注意喚起を行っていく旨を説明した。
- 2 委員から、島内における防犯カメラの設置状況について質問があったことから、現在までの設置状況を説明した。
- 3 委員から、高齢ドライバーによる事故等の状況について質問があったことから、交通事故の発生状況や高齢者に対する免許更新の手続き等について説明した。
- 4 委員から、遭難者の捜索等において、ドローンを活用することができないかとの質問があったことから、今後の参考意見として聴取し、当署における捜索の方法等を説明した。
- 5 委員から、管内の変則的な交差点の通行方法について質問があったことから、本部主管課に確認した上、正しい通行方法が地域住民に浸透していくよう広く広報していく旨を説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第4回 小笠原警察署協議会 議事概要

開催日時 平成31年02月22日 午後04時30分～午後05時30分

開催場所 小笠原警察署 講堂

出席者 協議会委員 4名  
署長ほか 4名

内 容

会議に先立ち交通係長、警備係長、捜査係長の出席について了承を得た。

[業務説明]

- (1) 本部会計課による会計監査が実施された。
- (2) 平成31年武道始式を実施した。
- (3) 交通事故防止対策として事象事例に基づいた検討会を実施した。
- (4) 保育園前の横断歩道のペイント作業を実施した。
- (5) 通学路合同点検、シニアカー利用者に対して安全教育及びシニアカーに反射材の貼付、高齢者の免許更新時講習（認知機能検査を含む）を実施した。
- (6) 小学校前の通学路において、自転車に対する指導警告を行った。
- (7) 赤灯点灯走行及び入港日の駐車対策を実施した。
- (8) カウントダウンパーティー、大神山神社・月ヶ岡神社初詣、海開き、ロードレース大会、大神山神社・月ヶ岡神社節分祭等のイベントにおいて関連各所と連携し警備を実施した。
- (9) 排出油事故を想定したオイルフェンス展張・オイル回収訓練を関係各所と連携し実施した。
- (10) おがさわら丸入港時、110番キャンペーンを実施し、チラシ配布等の広報活動を行った。
- (11) 巡回連絡やパトロール等の街頭活動を積極的に推進し、島内の体感治安の向上に努めた。
- (12) おがさわら丸内、覚醒剤遺留事件、海上保安庁との共同捜査
- (13) 母島における脅迫事件、本部との共同捜査
- (14) おがさわら丸不正乗船、海上保安庁との共同捜査
- (15) 男女の相互暴行事件の捜査
- (16) 特殊詐欺防止講話の実施

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 島民からの要望・相談に適切に対応し、信頼と協力が得られる警察活動の推進
  - (2) 重大事故の防止と安全で快適な交通社会を実現するための諸対策の推進
  - (3) 国際テロ対策等の推進及び地域実態に即した警察活動の推進
  - (4) 地域実態に即した地域住民に密着した警察活動の推進
  - (5) 犯罪抑止総合対策の効果的推進
 以上の対策を説明し「安全・安心な島小笠原」の実現に向けた取組について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
署長からの説明のとおり推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「脅迫事件の概要について」説明を求められ、捜査係長が説明した。
- 2 委員から「おがさわら丸内で発生した覚醒剤遺留事件の概要について」説明を求められ、捜査係長が説明した。
- 3 委員から「見通しの悪い交差点における樹木の伐採について」の要望があり、交通係長が管理者に協力依頼する旨を説明した。
- 4 委員から「おがさわら丸入港中、観光客と思われる人が、原付に乗り車道を逆走していたので注意してほしい」との要望があり、レンタバイク業者に協力依頼する旨を説明した。
- 5 委員から「農作物の盗難被害が発生したので巡回してほしい」との要望があり、パトロール活動を通して被害防止に努めていきたい旨を説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第3回 小笠原警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年12月03日 午後04時30分～午後05時30分

開催場所	小笠原警察署(2階講堂)	出席者	協議会委員 5名 署長ほか 4名
------	--------------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち交通係長、警備係長、捜査係長の出席について了承を得た。

[業務説明]

- (1) 実地監査及び留置施設視察委員会委員による視察について
- (2) 総合監察の実施について
- (3) 110番入電状況及び各種通報事案について
- (4) 交通事故発生状況について
- (5) 安全運転管理者及び副安全運転管理者講習について
- (6) 交通少年団活動について
- (7) 飲酒検問及び各種取締りの実施について
- (8) 横断歩道のペイント作業について
- (9) 小笠原諸島返還50周年記念行事、大神山神社例大祭警備及び平成30年東京都・小笠原村合同総合防災訓練について
- (10) 不発弾警戒について
- (11) 海上保安庁との合同パトロールについて
- (12) 犯罪の発生状況について
- (13) 防犯カメラの設置状況について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 島民からの要望・相談に適切に対応し、信頼と協力が得られる警察活動の推進
  - (2) 重大事故の防止と安全で快適な交通社会を実現するための諸対策の推進
  - (3) 国際テロ対策等の推進及び地域実態に即した警察活動の推進
  - (4) 地域実態に即した地域住民に密着した警察活動の推進
  - (5) 犯罪抑止総合対策の効果的な推進
 以上の対策を説明し「安全・安心な島小笠原」の実現に向けた取組について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
署長からの説明のとおり推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「母島で発生した不審火」について説明を求められ、捜査係長が説明した。
- 2 委員から「平成30年東京都・小笠原村合同総合防災訓練の問題点について」の質問があり、各海岸に、防災無線を聞き逃した人がいないか車両を使用して確認するが、二輪車を使用した方が確認時間の短縮になると考えている旨を説明した。
- 3 委員から「公共の場所における防犯カメラの設置について」の質問があり、管理や費用面で問題がある旨を説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第2回 小笠原警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年09月20日 午後04時30分～午後05時30分

開催場所	小笠原警察署(2階講堂)	出席者	協議会委員 4名 署長ほか 4名
------	--------------	-----	---------------------

内容

会議に先立ち交通係長、警備係長、捜査係長の出席について了承を得た。

[業務説明]

- 1 業務推進結果
  - (1) サイバーセキュリティセミナーの実施について
  - (2) 職場体験・社会科見学実施について
  - (3) 110番入電状況及び各種通報事案について
  - (4) 交通事故発生状況について
  - (5) 飲酒検問実施について
  - (6) 交通安全講習会の実施について
  - (7) 交通少年団活動と交通事故防止キャンペーンの実施について
  - (8) 返還50周年記念行事に伴う警備実施について
  - (9) 台風接近に伴った災害対策の実施について
  - (10) 犯罪の発生状況について
  - (11) 特殊詐欺発生状況と対策について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 島民からの要望・相談に適切に対応し、信頼と協力が得られる警察活動の推進
  - (2) 重大交通事故の防止と安全で快適な交通社会を実現するための諸対策の推進
  - (3) 国際テロ対策等の推進及び地域実態に即した警察活動の推進
  - (4) 地域実態に即し地域住民に密着した警察活動の推進
  - (5) 犯罪抑止総合対策の効果的な推進
 以上の対策を説明し「安全・安心な島小笠原」の実現に向けた取組について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 

署長からの説明のとおり推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「レンタカー、レンタバイク、レンタサイクルの事業者に対する交通事故防止対策を実施していると聞きましたが、利用者のマナー向上にもなるので良いことです。」との発言があった。
- 2 委員から「8月のサマーフェスティバルの期間中、機動隊から女性警察官が派遣され島のパトロールに従事してもらっているが、パトロール以外の業務として相談活動に従事してもらうことも良いのではないかと。警察署に女性警察官を配置できないか。」との意見要望があり、相談活動については、今後できるのかどうか検討していきたい。また、女性警察官の配置については、本部主管課に働き掛けていると説明した。
- 3 委員から「不発弾の処理に時間が掛かっている。」との質問があり、自衛隊での調整があるため時間がかかる旨を説明した。
- 4 委員から「運転免許証を自主返納した高齢者が、道路で電動車いすを使用しているが電動車いすの事故もあるので交通事故防止に対する認識をもってもらいたいが、何か手立てはないか。」との質問があり、交通キャンペーン、高齢者講習会等で注意喚起をしていきたい旨を説明した。
- 5 委員から「内地から遊びに来た方がATMを利用して振り込みをしているので、その方たちにも振り込み詐欺の注意喚起をしてはどうでしょうか。」との意見があり、入港キャンペーンを恒常的に推進する旨を説明した。
- 6 委員から「自然災害発生時のシステムの移転は考えているのか。」との質問があり、情報センターへ移動する旨を説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第1回 小笠原警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年06月21日 午後04時30分～午後05時30分

開催場所	小笠原警察署(2階講堂)	出席者	協議会委員 4名 署長ほか 4名
------	--------------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち交通係長、警備係長、捜査係長の出席について了承を得た。

[業務説明]

- 1 業務推進結果
  - (1) 情報セキュリティ及び警察装備品点検について
  - (2) 110番入電状況及び各種通報事案について
  - (3) 交通事故発生状況について
  - (4) レンタカー、レンタバイク、レンタサイクル事業者に対する交通事故防止の対策について
  - (5) 島嶼部向け防災講話の実施について
  - (6) 犯罪発生状況について
  - (7) 特殊詐欺発生と対策について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
「安全・安心な島小笠原」に向けた諸対策の推進について
  - (1) 島民からの要望・相談に適切に対応し、信頼と協力が得られる警察活動の推進
  - (2) 重大交通事故の防止と安全で快適な交通社会を実現するための諸対策の推進
  - (3) 国際テロ対策等の推進及び地域実態に即した警察活動の推進
  - (4) 地域実態に即し地域住民に密着した警察活動の推進
  - (5) 犯罪抑止総合対策の効果的な推進
 以上の対策を説明し、「安全・安心な島小笠原」の実現のため、取組のあり方について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
署長からの説明のとおり推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「高齢者の方が振り込め詐欺の被害にあったとの説明があったが、独居の高齢者をピンポイントに狙ったものなのか。」との質問があり、日頃からインターネットの通信販売を使用していたことで振り込んでしまったものと説明した。
- 2 委員から「おがさわら丸で発生した無賃乗船はどのようにして乗船したのか。」について質問があり、ツアー客に紛れて乗船したと説明した。
- 3 委員から「母島で車の鍵の抜き取り事案があったが、駐在の警察官がパトロールをしてくれて発生がなくなった。」との発言があった。
- 4 委員から「防犯カメラの設置は、犯罪発生の抑止力となるので引き続き協力依頼をしてほしい。」旨の要望があった。
- 5 委員から「パトカー、バイクの他に自転車等でこまめにパトロールをしてほしい。」旨の要望があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第4回 小笠原警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年02月26日 午後04時30分～午後05時30分

開催場所	小笠原警察署(2階講堂)	出席者	協議会委員 4名 署長ほか 4名
------	--------------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、交通係長、警備係長、捜査係長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 前回会議以降の業務推進状況
  - (1) 110番の入電状況
  - (2) 交通事故発生状況等
    - 二見港の共勝岸壁で上屋新築工事が始まり、一部駐車場が使用できなくなるためパトカーによる赤色灯点灯走行を実施し、路上駐車をしないように注意喚起するとともに、放置駐車車両に対しては、口頭で注意するなど路上駐車対策を推進した旨を説明した。
  - (3) 犯罪発生状況
  - (4) 特殊詐欺被害防止対策の推進状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - 「安全・安心な島小笠原」に向けた諸対策の推進について
  - (1) 島民からの要望・相談に適切に対応し、信頼と協力が得られる警察活動の推進
  - (2) 重大交通事故の防止と安全で快適な交通社会を実現するための諸対策の推進
  - (3) 国際テロ対策と各種災害対策等の推進
  - (4) 地域実態に即した警察活動の推進
  - (5) 犯罪抑止総合対策の効果的推進

以上の対策を推進していく旨を説明し、「安全・安心な島小笠原」の実現のための更なる取組のあり方について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - 署長からの説明のとおり推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「シルバードライバーに対する交通安全講習の実施の有無についての質問があり、高齢者講習会実施時に、交通安全講習を実施している旨を説明した。
- 2 委員から「レンタバイクを利用する学生に対する安全対策は、どのようにしているのか。」という旨の質問があり、レンタバイク業者に対し、安全運転の指導を徹底した上で、利用客に対する安全指導を適切に行うよう指導している旨を説明した。
- 3 委員から「ロードレース大会前、夜間運転していたところ、路上で練習していたランナーに気付かなかった。ランナーに対する安全対策はどのようにしているのか。」という旨の質問があった。夜間練習者については蛍光チョッキ着用及び反射材を携行するよう主催者に依頼をすると説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。